

再々評価結果（平成19年度事業継続箇所）

担当課：道路局・国道防災課
担当課長名：木村 昌司

事業名 一般国道371号 ^{いしほとけ} 石仏バイパス	事業区分 一般国道	事業主体 大阪府
起終点 自：大阪府河内長野市石 ^{かわちながのいしほとけ} 仏 至：大阪府河内長野市天 ^{かわちながのあまみ} 見	延長 6.1 km	
事業概要 バイパスへの交通転換により、並行する国道371号（現道）の交通渋滞解消と交通事故減少を図るものである。さらに大阪府と和歌山県の交流促進、物流の効率化を実現し、地域の活性化を担う地域高規格道路としての機能を併せもつ。		
H4年度事業化	H - 年度都市計画決定 (H - 年度変更)	H4年度用地着手
H7年度工事着手		
全体事業費 : 約260億円 事業進捗率 : 52% 供用済延長 : 1.8km 計画交通量 : 13,300台/日		
費用対効果分析結果 B/C : (事業全体) 2.7 (残事業) 5.3	総費用 : (残事業)/(事業全体) 146 / 282 億円 (事業費 : 142/278億円 維持管理費 : 4 / 4億円)	総便益 : (残事業)/(事業全体) 782 / 782 億円 (走行時間短縮便益 : 756/756億円 走行費用減少便益 : 18/ 18億円 交通事故減少便益 : 8/ 8億円)
基準年 : 平成18年		
事業の効果等 ・広域的なネットワークの形成に寄与する。 ・現道の通過交通が減少することにより、地域の交通安全対策にも寄与する。		
関係する地方公共団体等の意見 河内長野市・橋本市・五條市広域連携協議会より、国道371号の整備促進・早期完成の要望を受けている。(平成18年11月)		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 和歌山県側で平成18年4月に京奈和自動車道橋本道路が部分供用された。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成15年3月に第1工区L=1.8kmについては供用済み。現在、第2工区L=1.9kmについて整備中であり、平成20年代前半に完了の予定である。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 用地買収、工事ともほぼ順調に行われており特に問題はない。今後は、早期供用に向け用地買収、本工事の促進を図る。		
施設の構造や工法の変更等 工事で発生した残土の工事間流用による有効利用や、民間の新技术を活用する新たな入札制度を導入するなど、可能な限りコスト縮減に努める。		
対応方針 : 事業継続		
対応方針決定の理由 事業の必要性が認められ、事業進捗上も特段の支障がないと考えられる。		
事業概要図		

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。